

No. 943

東京ゴミ戦争

出るわ、出るわ、ゴミの山。東京23区から吐き出されるゴミは1日に12,000屯。
夢の島15号埋立地はトラックの列。燃えるものも燃えないものも、生活から棄てられたものはゴミとして埋められていく。

昔、ゴミの量は文明のバロメーターと呼ばれた。しかしこうまで増えると逆に文明のもたらした公害となってしまった。焼却できるのは、わずか35%の4,200トン足らず。なんとしても増やしたいゴミ焼却工場。
東京ゴミ戦争宣言を都議会で発表し、都民の協力を求めゴミの自区内処理をかけた美濃部都知事。
しかし、杉並区高井戸焼却場建設反対期成同盟の住民は、広域処理ををかけて反対してきた。1月28日、ようやく再開された対話集会。

『昭和50年をめざして何としても確保したい……』と都知事。
『自区内処理がいまだ焼却工場のない13区全部がそして都民が望めば考えなおしたい』と住民側。
折りも折り、大都市大阪で新しいゴミ処理工場が完成した。固めてポイ！ プレス方式だ。発案した社長は、『一番問題のゴミトラックが1日に6,000台も江東区内を通るという難問は解決できると思う。道路の敷設にも使えるし……ゴミは宝ですよ』
プラスチックでもヘドロでも、何でも圧縮して鉄化石にしようというのだ。確かに新兵器だ。
今日も町はゴミであふれ、夢の島に通ずる江東区枝川町内をゴミトラックは走りまわっている。15号地埋立地も満ばいだ。明日の東京がゴミに埋まる前に解決しなければならない。

70メートルジャンプ

日本メダル独占

—'72札幌オリンピック—

アジアで初めて開かれる『雪と氷の祭典、—第11回冬季オリンピック札幌大会は、2月3日午前11時『札幌オリンピック序曲』の演奏で幕をあげた。大会総裁である天皇・皇后・両陛下のご臨席のあとオリンピック発祥国ギリシャを先頭に35カ国、1,128人が堂々の入場行進、柴田団長以下110人の日本選手団が最後に続いた。ブランデー国際オリンピック委員会長の歓迎の辞について、天皇陛下が開会をご宣言。

東口から白いコスチュームのスケーター、辻村いずみさんが聖火をかけた後、煙の尾をなびかせながら選手団の前をゆっくりすべっていく姿に拍手も一段と高まった。聖火台下で聖火を受け取った高田英基君は103段をいっきにかけ登り、聖火台に点火、『札幌オリンピック開会式賛歌』の大合唱の中で豆スケーター、800人が五色の風船を一齐に放し、開会式ムードはクライマックスに達した。

大会3日目、日本期待の男子スケート500、鈴木恵・鈴木正・肥田のスピードトリオが出場、しかしケラー（西独）の輝く2連バの前に花と散り、世界選手権5回優勝、スケート短距離日本一の鈴木恵はこの日を最後にリンクに別れを告げた。

日本中が注目した70メートル級ジャンプ、連日宮の森で調整を続けている日本勢の調子は最高、まず一回目のジャンプ、先頭を切る金野が82.5メートル、続いて青地・笠谷が飛んだ。笠谷は84メートルの最長不倒をマークし、冬季オリンピック史上初の金メダルを、金野が銀、そして青地が銅と、日本はメダルを独占、札幌の空に3本の日の丸がひるがえった。